

# みんなネット NEWS

2018年12月11日発行

## ♥里親シンポジウムの報告



10/28(日)津市人権センターにて

今回は、里子の方と里親をしている家庭の実子の方の体験談を聞くことが出来ました。

それぞれご自分と里親との出会いや家族として共に生活している日々について話されました。会場は、380名と満員で、パネリストのお話に聞き入っていました。



シンポジウムを開催するに当たり、10月8日には、鈴鹿イオンホールで、また21日には、亀山市の「あいあいまつり」で多くの市民にアピールさせて頂きました。

シンポジウム後は、「1中学校区に1人の里親を！」と亀山・鈴鹿の中学校区ごとに地域の方への説明会が開かれ、PTAの方にたくさん集まっていただきました。

地域に里親登録している方がいると、子どもは、転校などしなくていいので、友人関係も保たれ、新しい環境のストレスも少なく安心して生活できるので、大切な事なのです。

また、地域に里親制度ってどういうものかという事を広報していく事も大変重要な事だと考えています。「赤ちゃんを大人になるまで育てるのが里親だ」とか、「夫婦揃っていないと里親にはなれない」とか、「生活費は里親が負担するのだろうか?」とか、「専業主婦でないと子育ては出来ないだろう」とか、「里親になって育てる時、自分たちを誰かがサポートしてくれるのだろうか?」とか、色々わからない事や不安な事が多い様です。

これからも地域の方にわかりやすく、また、里親を検討されている方には、情報提供ができるよう、児童相談所等行政と連携して活動していきたいと思えます。

担当：鬼藤

◎里親って知っていますか? 様々な事情で自分の家庭で暮らせない子どもたちを家庭へ迎え入れ、養育にあたる方を「里親」といいます。

10月末 ぼくの親は里親。～子どもの立場から「里親制度」を考える～ というシンポジウムに参加してきました。

里親ではなく、その子どもたちからの話を聴くことができるのは心惹かれるものがありました。

20代の青年は、里親とたくさん たくさんぶつかった。暴言を吐いたり、壁に穴をあけたり、家出を繰り返したりと過去を振り返りリアルに語ってくれました。

他にも20代の女性たちは、実親と里親との間で揺れ動く気持ちや、これから自立して生きていくために準備中であることなどを話してくれました。

3人に共通して言えることは、産んでくれた親も、育ててくれた里親も大切な存在。

社会で生きていく力を与えてくれた、ということです。

現在の子どもたちの状況は、愛着形成の不足だったり、子どもへの虐待だったり、いじめなど問題がたくさんあります。

微力ながら子どもが子どもらしく生きていけるお手伝いができればいいなと思っています。

Y.H.

◎里親は社会的養護の一つの形。様々な理由で保護者と一緒に暮らせない子ども達を家庭に迎え入れ、日常生活の中で養育する事です。

シンポジウムでは、里親を経験した子どもの立場からの気持ちを聞きました。

里親に対しては、「区別しないで、特別に気を遣うことなく、養護の期間が終わっても心配してくれる、いつもの日常、変わらない声掛け、当たり前前を大切に」して貰った事がありがたかったと話していました。



「子どもは関係によって傷つき、関係によって修復もできる」という内容の話もありました。いかに子どもを取り巻く大人のあり方が重要か。子どもの権利が当たり前前に認められていたら、理不尽な扱いをされ、傷つく事はなかったはず。でも、また関係によって修復できると聞いて、希望と、私たち大人の大きな責任を感じました。自分を否定しない人と出会えたら人は生きていける。大人も子どもも同じです。

そもそも、知らない権利は使えないので、施設にいる子どもにも里親家庭の子どもにも「権利ノート」を配布する必要性はその通りだと思います。

「勝手に秘密を暴かないで」「どんな子にも、聞いてもらえる、答えてもらえる権利がある」里親家庭で育った3名の方の発表は、これらの権利で守られていました。自分が話せる範囲の経験や気持ちをゆっくりと話し、その発表を時間で区切られる事も否定される事はありませんでした。すべてを受け入れられているという安心感を感じました。

親との折り合いが悪くて、里親家庭で暮らしたというパネリストのひとりが、一緒に暮らしたいと何度も母親に手紙を書いたと話しました。母親からの返事はないとのこと。でも、彼女はいつか返事を貰って一緒に暮らせたらと願っています。子どもはこんなにも母親を求めるものなのか、聞いている私は苦しくなりました。さっさと見切りを付けたら楽なのだと思うのは、

親の愛情をしっかりと受けて育ったからこそ言える事なのでしょう。 中川

## ♡チャイルドラインからのお知らせと ファンドのお礼



12月1日より、毎週土曜日 19時～21時までオンラインでの相談を行う事になりました。(年末年始12月29日～1月3日休み)

もちろん電話でも毎日 16時～21時は引き続き行っています。

色々な方法で子どもと繋がる方法がある事が大事ですね。

11月3、4日に行われた楽市の時に市民活動センターの軒先をお借りしてバザーを出しました。皆さんに提供していただいた様々な物を販売し、おかげ様でその2日間で約2万円の収益がありました。

また、毎年手作り雑貨でチャイルドラインチャリティーのご協力をいただいている Mellow\*Space さんより5千円の寄付をいただきました。

すべてチャイルドラインへ寄付させていただきました。ありがとうございました。

次回のバザーは3月23日(土)市民活動フェスティバルで予定しております。提供していただける物品あればご協力よろしくお願ひします。

## ♡平成 30 年度提供会員養成講座 (度会郡・大台町ファミリー・サポート・センター事業)



日程	講座内容・講師(敬称略)	時間
1/26 (土)	開講式・オリエンテーション	9:50～10:00
	提供会員の役割と心得 秋山則子：三重県子どもNPO 株・セカ 子どもの権利 田部真樹子：三重県子どもNPO 株・セカ	10:00～12:00 13:00～15:00
1/27 (日)	子どもの遊び 山野栄子：ユマニテク短期大学	10:00～12:00
	心の発達/障害について 千草篤麿：高田短期大学こども学科	13:00～16:00
2/2 (土)	保育の心 堀川美子：育児支援アドバイザー	10:00～12:00
	子どもの栄養と食生活 馬場啓子：管理栄養士	13:00～16:00
2/3 (日)	身体の発達と病気 花田 基：花田小児科	9:30～12:30
	小児看護の基礎知識 岡田まり：セネラス講義講師(セネラス)	13:30～16:30
2/9 (土)	子どものけがの予防と応急処置 富内直美：日本赤十字社三重県支部	9:30～12:30
	講座をふりかえって 度会町担当者 秋山則子：三重県子どもNPO 株・セカ (グループで話し合い)	13:30～15:30
	会則・活動記録等の説明	15:40～16:10

玉城町、度会町、南伊勢町、大紀町、大台町、その近隣にお住まいの方でファミリーサポート提供会員と

して活動して頂ける方を募集します。伊勢のファミサポでもおなじみの先生方に講師として来ていただきます。

子育て支援に手を貸していただける方のお申し込みをお待ちしています。

会場は度会町役場です。

受講料は無料。ただし、テキスト代(2,500円)は受講者負担となります。

※講座日程のすべてを一度に受講できない方は、託児をご希望の方は、申し込み時にご相談ください。(無料)

池田

## ♡平成 30 年度第 1 回交流会(いせ FSC)

### 『もしもの時』あなたは どうする?

### ～お話とパッキング実習～



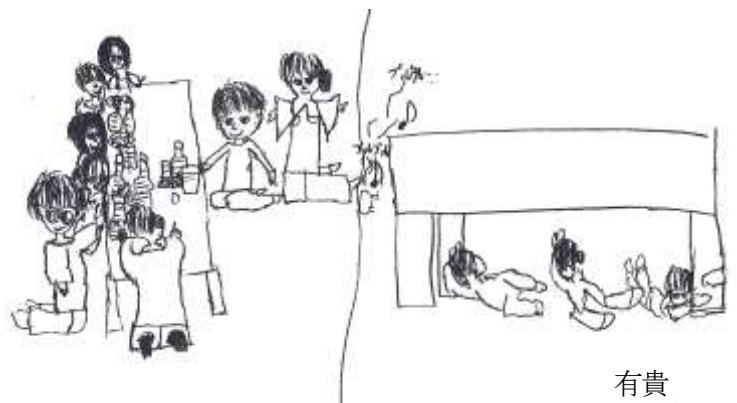
11/25(日) 明照児童館

参加者は3家族7人(内小学生4人)と提供会員3人で少人数でしたが、ゆったりとした雰囲気での交流会でした。

パッキングのご飯は炊飯器で炊くご飯とは味も食感も違います。被災して初めて洗ってないお米を食べると、子どもは食欲がわかないものだと聞いたことがあります。

日頃から非常時を想定しての体験をしておくことはとても大切です。

最後は新聞紙スリッパとコップ作り、そのスリッパを履いて会場内を得意気に歩いている子どもたちの顔を見ていて、遊びの感覚を織り交ぜながら、もしもの時の体験をしていく事の大切さを感じました。



有貴

◎今回の研修で災害時の避難は迅速に行わないといけない事、日頃からの備えが大切な事を改めて感じました。その時はこうしなければと感じながらも喉もとすぎれば...ということをついつい日常の忙しさにかまけて忘れてしまいがちになる事に反省しきりです。忘れてしまっても実践で教えてもらったパッキングとか新聞のスリッパ、コップなんかは非常時にもなんとか思い出せる事を願って、機会があれば何回も参加して自分の身につけたいものです。

提供会員 H.S.

◎子ども達は幼稚園・小学校などで定期的に防災訓練など行っているのによくわかっている様子でしたが、今までこのように落ち着いて親子で一緒に防災の事を学べる機会があまりなかったので伊勢市危機管理課の防災アドバイザー山口様から詳しくお話を伺えた事、本当に有り難く思います。

いざ災害が起こった時に、果たして冷静に行動できるのだろうかと不安になるのは大人だけかもしれませんが。実際そうなった時は冷静さが欠けます。わかっているようでわかっていない事沢山あります。家に居る時、学校、外、電車やバスなどに乗っている時、それぞれにおいて危険から身を守るにはどうすべきか、普段からそのような場合どうするかを家族で話し合うことの大切さを学ばせていただきました。

緊急地震速報の発信音（TV・ラジオ・スマホなど）の違いやお知らせの後の行動なども細かくご指導いただきました。また建築基準法の改正による新耐震基準や津波ハザードマップなどの再確認もでき、改めて親子で防災意識を高める事ができました。

ビニール袋にお米・水・缶詰を入れ、沸騰した鍋の中で30分程度でできる非常食はとても美味しかったです。これは色々と応用できそうなので、子ども達と一緒に考えながら作ってみたいです。

今回学んだことを是非活かせるようにしたいと思います。前回台風で延期になりましたが、参加させてただけで良かったです。ありがとうございました。

依頼会員 S.M.

## ♥平成 30 年度第 2 回交流会『親子でヨガ』

(いせ FSC) 

～心と身体をほぐしましょう～

12/2(日) いせトピア

参加者:9 家族 21人(内子ども 12 人)提供会員 2 人

最初は緊張気味に入ってきた子どもも、お母さんと一緒にゆったりとした時間を過ごしていました。募集開始日から3日で締め切りとなった超人気の交流会でした。

### ◎「呼吸が変わった1時間にビックリ!!」

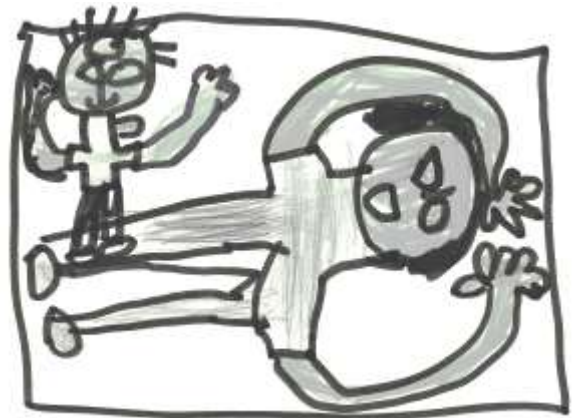
自分と同じ名前の講師さんに魅力を感じて申し込みました(笑)

先生はふんわりとした雰囲気のでやさしい方で、お声もヨガの内容も親子でしっとりと楽しめるものでした。私は4人の子育て中なのですが、この日は一番心のケアが必要な3番目の次男君と参加しました。ちょうちょのポーズなど、子を親が包み込んだり、子が親を労わるエクササイズなどもあり、次男君とゆっくり向き合える機会となりました。ありがとうございました。一番驚いたのが、スタート時にリラックスしたポーズで目を閉じた時の呼吸と、ヨガをした後に再度確認し

た呼吸は全く違っていただけでした。スタート時の呼吸は努めてゆっくりしているけれど、浅く忙しいもので、後の呼吸は深くゆったりと心地良いリズムのあるものでした。たった1時間で、こんなに自分の呼吸が劇的に変化するとは思っていなかったので感激しました。

今回参加させて頂いた事で次男君との素敵な思い出も出来ましたし、自分の呼吸を知る貴重な機会を得る事が出来ました。ファミリーサポートには、又このような会を企画して頂き、たくさんの親子が幸せになる時間となります事を願っております。ありがとうございました。

服部恵美



いせトピア  
おかげさまで  
おかげさまで  
たのしかったです

### ◎親子でヨガの交流会に参加して

親子でヨガを始める前に、ファミリーサポートセンターの人による手あそび及び紙芝居、絵本の読み聞かせがありました。お子さんを2人連れて来ているお母さん方も居るので、その内の1人の子とペアを組み、手あそびで遊び楽しい時を共有する事が出来ました。

ヨガ運動指導士の方は、自分の子どもを連れて来てくれ、その子と一緒に親子でできるヨガを、分かりやすく説明してくれました。

ヨガは、深く呼吸をする事によって、心身をほぐしていくので、とても良いと感じています。

子ども達もお母さんと一緒にヨガを楽しんでいました。

子どもは、活動的なので、動き回る子も出てきましたが、お母さんの背中の上に乗るポーズの時などは、自分が乗る事で、お母さんの腰がほぐれ喜んでくれてい

と思うのでしょうか、その様子と笑顔が素敵でした。

自分自身は、ヨガの体験は、とても良かったのですが、体の硬さを改めて痛感した次第です。

提供会員 梅谷富久美

◎日曜日はありがとうございました。大雅と久々2人で楽しい時間をすごせました。ヨガもできて、呼吸も終わった時ゆっくりになって、リラックスもできました。皆さんとのふれあう時間も楽しかったです。

両方会員 R.K.



## ♥平成 30 年度第 2 回提供会員養成講座

(いせ FSC)



とき	時間	講座項目・講師(敬称略)
2/23 (土)	9:15~ 9:30~	開講式/オリエンテーション 子ども・子育てを取り巻く環境 秋山則子 三重みなみ子どもネットワーク
	12:30~	子どもの遊び 山野菜子 大橋学園ユマニテック短期大学
	14:40~ 16:10	子どもの生活へのケアと援助 伊勢市の子育て支援 戸上隆子 伊勢市こども課
2/24 (日)	9:30~	心の発達・障害について 千草篤磨 高田短期大学子ども学科
	13:30 ~ 16:30	身体の発達と病気 羽根靖之 はね小児科医院
3/2 (土)	9:30~	小児看護の基礎知識 岡田まり 滋賀訪問看護ステーションあまのこ
	13:30~ 16:30	子どもの事故と安全 富内直美 日本赤十字社三重県支部
3/3 (日)	10:00~	保育の心 堀川美子 育児支援アドバイザー
	13:00~	子どもの栄養と食生活 馬場啓子 管理栄養士
	16:10~ 16:50	会則/事業説明 倉本紀子 アドバイザー

第 2 回提供会員養成講座が下記の日程で決まりました。

すぐには提供会員としての活動は出来ない方も受講されていますが、現代の子どもや子育て状況を知って頂くよい機会となっています。ご自分の子育てのために託児の依頼(無料)をしながら部分的に受講される方もあります。依頼会員の方が1年がかりで全講座の受講を済まされて、両方会員として登録変更されるこ

ともあります。

毎回好評の講座です。お知り合いなどで子育て支援に興味のある方や、子育て中の方などがありましたらお誘いよろしくお願ひいたします。

岩井

受講料は無料です。但し、テキスト代(2,100円)は受講生負担となります。

会場は小俣農村環境改善センター、託児希望の方は申込時にご相談ください(無料)。

※今回、講座日程のすべてを一度に受講できない人は、ご相談ください。

## ♥次世代応援わくわくフェスタ



11月23日に桑名市長島町にある“輪中ドーム”で「次世代応援わくわくフェスタ」が、三重県と桑名地区の実行委員会主催で開催されました。

各地域の企業・NPO・行政がブース出展し、子育て中の親子が色々な体験を

して、楽しんでいました。

その中で「お仕事体験」というコーナーがあり、子どもたちが企業などのブースで様々な仕事を体験し、“100みつふる”のお給料をもらい、そのお給料で次世代応援ネットワークのブースで、お菓子を買うという体験です。

世の中の仕組みをほんの少し体験するのですが、子どもたちは大変嬉しそうに、そして真剣にお菓子を選んでいました。

子どもたちを見ていて、自分で選ぶという体験をこれからも沢山してほしいなと思いました。



♪子ども服のリサイクル交換コーナー(無料)常設中(もらっていただけでもOKよ!)

♪毎月11日はイオンのイエローレシートの日!! (ジャスコ伊勢店、マックスバリュウのラパーク店)

♪使用済みインクカートリッジ(純正のみ)回収にご協力を!!

カテキン茶・乾燥あげ・こんにやくも買っていただくことでチャイルドラインへの寄付金になります!

野田のあられも仲間入りしました。バレンタインチョコカタログは次回のニュースでは間に合わないの、事前にご入用の方は連絡ください。

《発行》

NPO法人三重みなみ子どもネットワーク【みんみんネット】

Tel 0596-28-5692 Fax 0596-28-5679

〒516-0037 伊勢市岩洲2-3-13

Eメール kodomo21@amigo2.ne.jp

http://www.amigo2.ne.jp/~kodomo21/

